



なかしん

中小企業景況レポート

No.51 中栄信用金庫 地域支援部

2024年4月～6月実績と2024年7月～9月見込み

◆調査概要

調査時期 2024年6月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
 調査企業数 340社
 回答企業数 334社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	94	100.0
卸売業	28	28	100.0
小売・飲食業	65	63	96.9
サービス業	51	49	96.0
建設業	65	63	96.9
不動産業	37	37	100.0
合計	340	334	98.2

◆4月～6月期の概況

～景況感は改善となるも、慢性的な人手不足への対応に苦慮～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲7.2 を示し、前回調査（2024年1～3月期）に比べ6.9ポイントの改善となりました。

今期の調査では、製造業において主要取引先からの受注状況の回復がみられたことに加え、介護業や理美容業などを中心とした利用者数の増加がみられており、建設業、不動産業を除く4業種において業況判断 D.I. の改善となっております。一方、4月以降2024年問題による労働時間の上限規制に伴う制約から、人繰りへの対応に苦慮する企業もみられております。

また、特別調査では、全国的に慢性的な人手不足が叫ばれる中、貴社における人材確保状況について問いかけたところ、職種別では、「営業職で働く従業員」や「生産・販売現場で働く従業員」等、現場作業員が不足していると回答した企業が全体の約4割程度みられております。また、今後の人材確保に向けた対応策としては、新卒採用よりも即戦力となる中途採用を強化するという回答が多かったほか、女性社員の活躍推進と回答した企業は全体の約2割程度みられております。

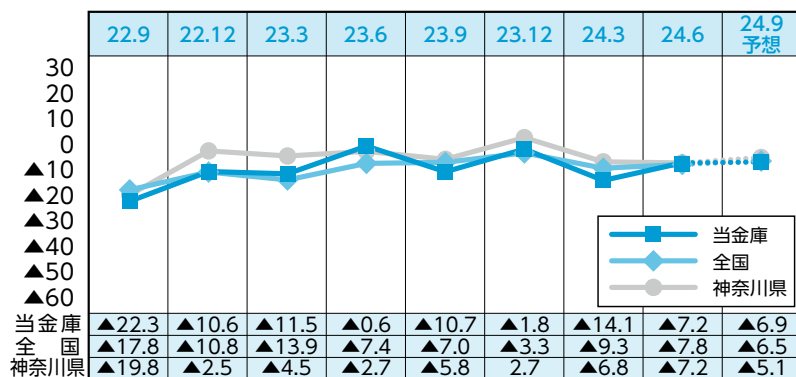
項目別にみると、売上額実績 D.I. は11.1ポイント改善の3.0、収益実績 D.I. は9.8ポイント改善の▲3.6となっております。仕入価格 D.I. は3.3ポイント悪化の54.9、資金繰り D.I. は2.7ポイント小幅改善の▲13.2、人手過不足 D.I. は2.9ポイント弱まり▲30.3となっております。また、業種別の景況感は製造業が20.7ポイント改善の▲9.6、サービス業が7.3ポイント改善の▲12.2、卸売業が4.5ポイント改善の▲21.4、小売・飲食業が3.7ポイント改善の▲6.4、不動産業が2.7ポイント小幅悪化の▲8.1、建設業が3.3ポイント悪化の6.4となっております。（業種別の詳細につきましては次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は1.5ポイント小幅改善の▲7.8、神奈川県内につきましては0.4ポイント小幅悪化の▲7.2となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値につきましては信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆7月～9月期の見通し

来期の業況判断予想は0.3ポイント小幅改善の▲6.9、売上額 D.I. は2.7ポイント小幅改善の5.7、収益 D.I. は0.6ポイント小幅改善の▲3.0の見通しとなっております。

業況判断 D.I. 値 (全業種)



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い

製造業

●概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 20.7 ポイント改善の▲9.6 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 13.9 ポイント改善の▲6.4、収益 D.I. は 18.1 ポイント改善の▲4.3 となっております。

製造業では、主要取引先からの受注状況が回復傾向であることに加え、半導体の供給制約が解消に向かうなど、プラスの影響がみられたことから総じて景況感の改善となっております。

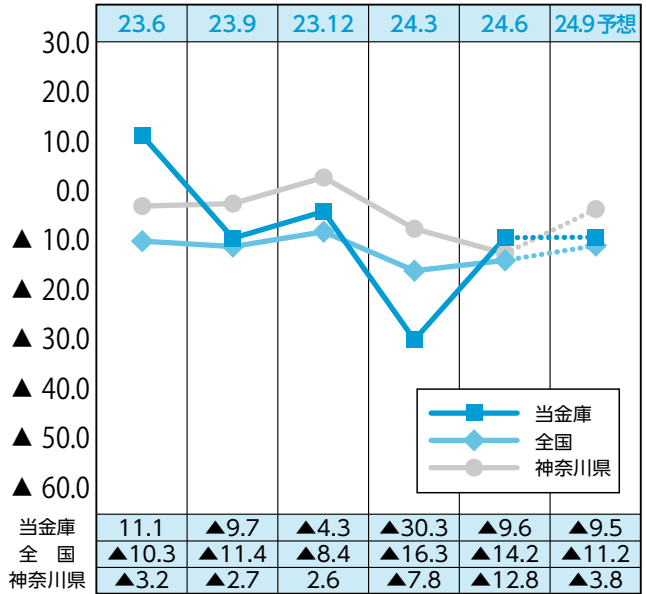
一方、輸送用機器関連製造業では、大手メーカーの工場稼働再開となるも、先行き不透明な状況が続いており、建設用機器関連製造業においては、海外経済の低迷等の影響により主要取引先からの受注は低調となっております。

また、当面の重点経営施策として「機械化を推進する」と回答した企業数が前回調査に比べ増加しており、恒常的な人手不足への対応策として省力化を目的とした設備投資に取り組む企業がみられています。

なお、全国は 2.1 ポイント小幅改善の▲14.2 となっており、神奈川県は 5 ポイント悪化の▲12.8 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 0.1 ポイント小幅改善の▲9.5 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	D.I.			
前期実績	23.5	32.7	43.8	▲20.3
当期実績	25.5	42.6	31.9	▲6.4
来期予想	34.0	38.4	27.6	6.4
前年同期比	29.7	24.6	45.7	▲16.0

販売価格

	D.I.			
前期実績	16.8	77.6	5.6	11.2
当期実績	13.8	82.0	4.2	9.6
来期予想	12.9	85.0	2.1	10.8

在庫

	D.I.			
前期実績	13.4	78.8	7.8	5.6
当期実績	12.7	82.0	5.3	7.4
来期予想	+8.5	86.2	5.3	3.2

人手

	D.I.			
前期実績	+7.8	60.8	31.4	▲23.6
当期実績	+10.6	62.9	26.5	▲15.9
来期予想	+8.5	67.1	24.4	▲15.9

収益

	D.I.			
前期実績	19.1	39.4	41.5	▲22.4
当期実績	21.2	53.3	25.5	▲4.3
来期予想	25.5	50.1	24.4	1.1
前年同期比	25.5	33.1	41.4	▲15.9

原材料価格

	D.I.			
前期実績	44.9	52.9	2.2	42.7
当期実績	56.3	42.7	1.0	55.3
来期予想	48.9	51.1		48.9

資金繰り

	D.I.			
前期実績	+3.3	75.4	21.3	▲18.0
当期実績	+9.5	73.5	17.0	▲7.5
来期予想	+8.5	74.5	17.0	▲8.5

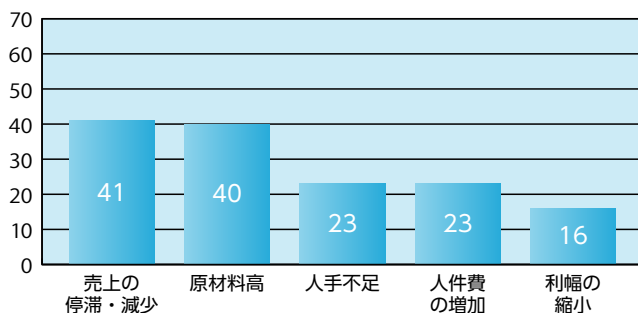
設備状況

	D.I.			
前期実績	+6.7	73.1	20.2	▲13.5
当期実績	+7.4	79.9	12.7	▲5.3
来期予想	+5.3	83.0	11.7	▲6.4

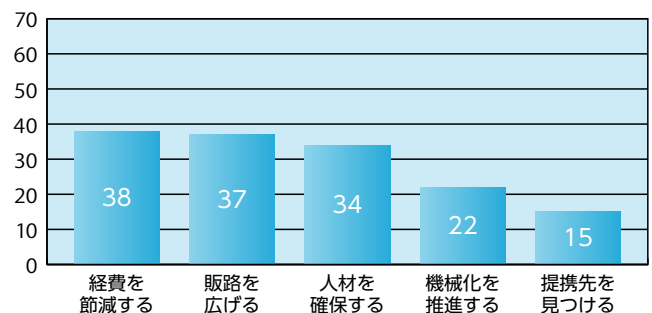
当期実績…2024年 4～6月期
来期予想…2024年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.5 ポイント改善の▲21.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 0.3 ポイント小幅改善の▲7.1、収益 D.I. は 7.8 ポイント改善の▲10.7 となっております。

食品卸売業では、前回調査に引き続き飲食店等、主要取引先の業況回復に伴い受注状況は安定していることに加え、一部企業では、新たな販売チャネル構築による新規取引先獲得の動きがみられたことなども、景況感改善の一因となっております。

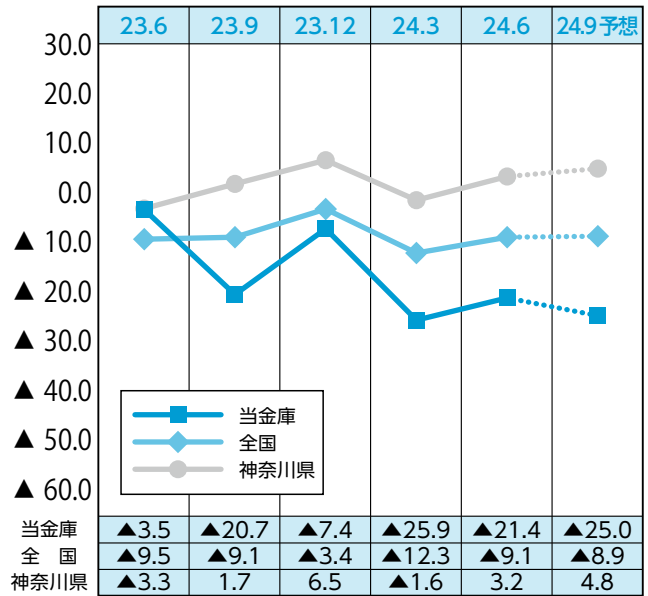
一方、仕入価格については物価高や天候不良による生産量の低下等を背景に高騰しており、価格高騰分を販売価格へ転嫁する動きが強まる中、対応に苦慮する企業もみられております。

建材卸売業では、県東部や都内における建設需要の高まりによる建設業の業況好調を背景に取引先数増加に伴う業況回復がみられている一方、人手不足や既存設備の老朽化による納期の長期化などが課題となっております。

なお、全国は 3.2 ポイント改善の▲9.1 となっており、神奈川県は 4.8 ポイント改善の 3.2 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 3.6 ポイント悪化の▲25.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	25.9	40.8	33.3	D.I.
前期実績	25.9	40.8	33.3	▲7.4	
当期実績	32.1	28.7	39.2	▲7.1	
来期予想	17.8	57.2	25.0	▲7.2	
前年同期比	25.0	28.6	46.4	▲21.4	

販売価格

	前期実績	51.8	44.5	3.7	D.I.
前期実績	51.8	44.5	3.7	48.1	
当期実績	39.2	53.7	7.1	32.1	
来期予想	25.0	71.5	3.5	21.5	

在庫

	前期実績	+7.4	85.2	7.4	D.I.
前期実績	+7.4	85.2	7.4	0.0	
当期実績	+10.7	85.8	3.5	7.2	
来期予想	+10.7	85.8	3.5	7.2	

人手

	前期実績	+3.8	57.8	38.4	D.I.
前期実績	+3.8	57.8	38.4	▲34.6	
当期実績	+7.1	67.9	25.0	▲17.9	
来期予想	+7.1	71.5	21.4	▲14.3	

収益

	前期実績	22.2	37.1	40.7	D.I.
前期実績	22.2	37.1	40.7	▲18.5	
当期実績	25.0	39.3	35.7	▲10.7	
来期予想	17.8	53.7	28.5	▲10.7	
前年同期比	21.4	28.6	50.0	▲28.6	

仕入価格

	前期実績	66.6	29.7	3.7	D.I.
前期実績	66.6	29.7	3.7	62.9	
当期実績	67.8	25.1	7.1	60.7	
来期予想	42.8	57.2		42.8	

資金繰り

	前期実績	14.8	63.0	22.2	D.I.
前期実績	14.8	63.0	22.2	▲7.4	
当期実績	17.8	53.7	28.5	▲10.7	
来期予想	+7.1	64.4	28.5	▲21.4	

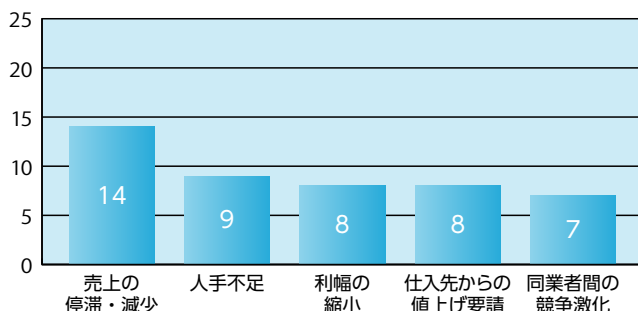
設備状況

	前期実績	81.5	18.5		D.I.
前期実績	81.5	18.5		▲18.5	
当期実績	85.8	14.2		▲14.2	
来期予想	89.3	10.7		▲10.7	

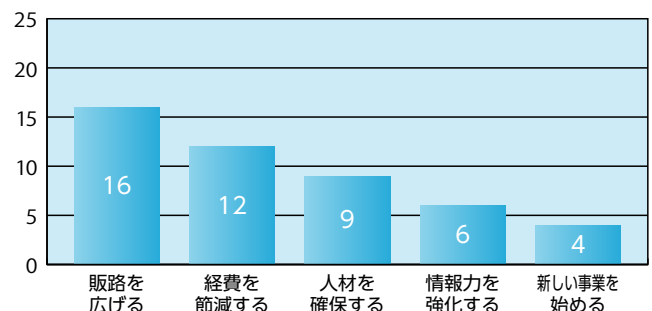
当期実績…2024年 4～6月期
来期予想…2024年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

●概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 3.7 ポイント改善の▲6.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 28 ポイント改善の 14.5、収益 D.I. は 16.8 ポイント改善の 3.3 となっております。

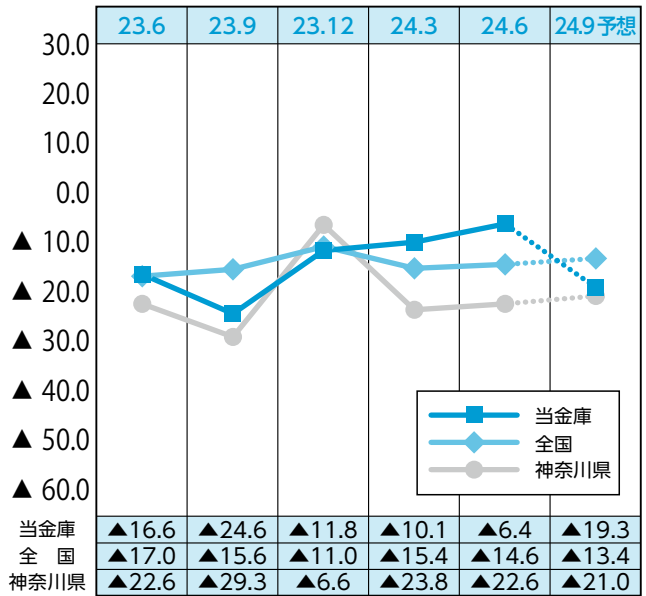
今期は、年末需要に対する反動減が一服したことに加え、大型連休による個人消費の持ち直しの動きにより、来店客数の増加がみられたことで売上額 D.I. の改善となっております。

また、食材や包装資材等仕入価格高騰の影響がみられる中、高騰分を販売価格へ転嫁した企業がみられたことに加え、仕入先の見直しや、一括仕入等の取り組みを実施したことにより原価率の改善が図られたことから、総じて収益 D.I. の改善となっております。

なお、全国は 0.8 ポイント小幅改善の▲14.6 となっており、神奈川県は 1.2 ポイント小幅改善の▲22.6 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 12.9 ポイント悪化の▲19.3 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	27.1	32.3	40.6	D.I.
前期実績	27.1	32.3	40.6	▲13.5	
当期実績	35.4	43.7	20.9	14.5	
来期予想	22.5	50.1	27.4	▲4.9	
前年同期比	41.9	32.3	25.8	16.1	

販売価格

	前期実績	33.8	54.4	11.8	D.I.
前期実績	33.8	54.4	11.8	22.0	
当期実績	46.7	51.7	1.6	45.1	
来期予想	32.2	64.6	3.2	29.0	

在庫

	前期実績	+6.7	86.6	6.7	D.I.
前期実績	+6.7	86.6	6.7	0.0	
当期実績	+8.0	84.0	8.0	0.0	
来期予想	+4.8	88.8	6.4	▲1.6	

人手

	前期実績	+5.0	61.2	33.8	D.I.
前期実績	+5.0	61.2	33.8	▲28.8	
当期実績	+3.2	69.4	27.4	▲24.2	
来期予想	+1.6	75.9	22.5	▲20.9	

収益

	前期実績	25.4	35.7	38.9	D.I.
前期実績	25.4	35.7	38.9	▲13.5	
当期実績	25.8	51.7	22.5	3.3	
来期予想	17.7	48.5	33.8	▲16.1	
前年同期比	30.6	38.8	30.6	0.0	

仕入価格

	前期実績	62.7	34.0	3.3	D.I.
前期実績	62.7	34.0	3.3	59.4	
当期実績	61.2	35.6	3.2	58.0	
来期予想	56.4	42.0	1.6	54.8	

資金繰り

	前期実績	+5.0	69.6	25.4	D.I.
前期実績	+5.0	69.6	25.4	▲20.4	
当期実績	+6.4	66.2	27.4	▲21.0	
来期予想	+4.8	74.3	20.9	▲16.1	

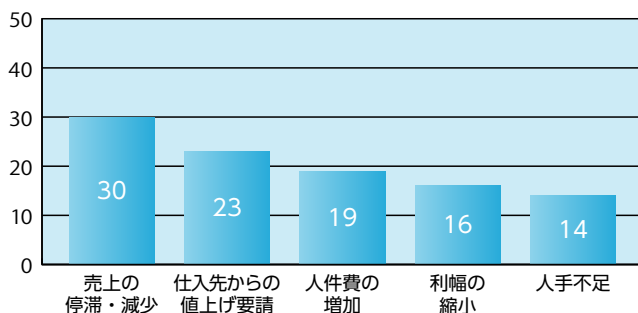
設備状況

	前期実績	81.4	18.6	18.6	D.I.
前期実績	81.4	18.6	18.6	▲18.6	
当期実績	87.1	12.9	12.9	▲12.9	
来期予想	+1.6	85.5	12.9	▲11.3	

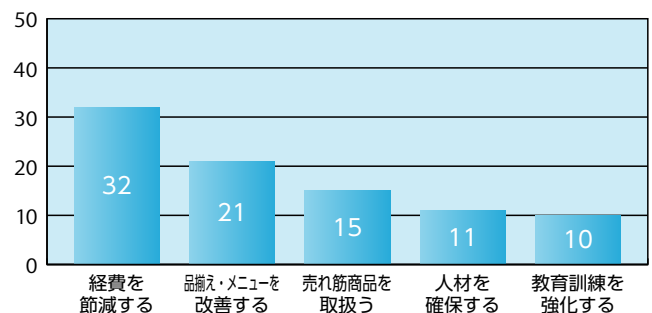
当期実績…2024年 4～6月期
来期予想…2024年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

サービス業の業況判断D.I.は前回調査比7.3ポイント改善の▲12.2となりました。項目別では、売上額D.I.は14.8ポイント改善の6.1、収益D.I.は15.5ポイント改善の▲4.1となっております。

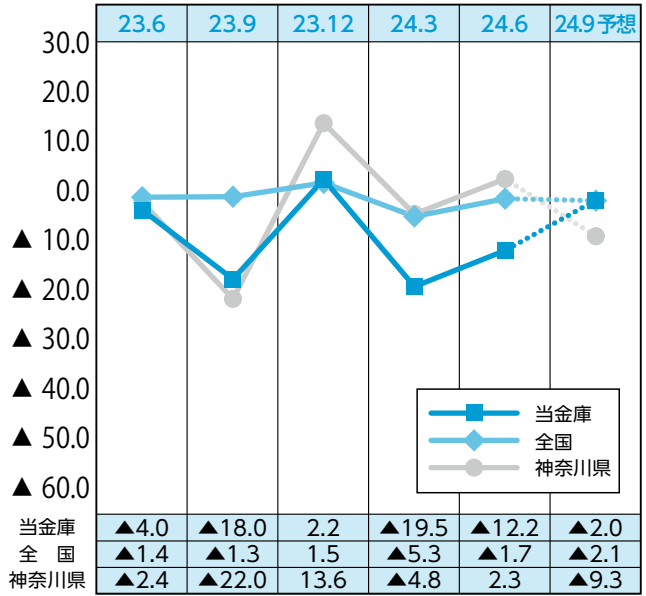
今期は、サービス品質向上を目的とした従業員教育や新規利用者獲得に向けた営業強化策などの企業努力により、理美容業、介護業など多くの業態において需要の増加がみられ、売上額D.I.の改善となっております。

しかしながら、人手の状況については、経営上の問題点として、約半数の企業が「人手不足」と回答するなど、依然として人材確保に苦慮する企業がみられていることに加え、運送業では、2024年問題による労働時間の上限規制の影響により、対応可能な受注に制約が生じ、配送量の減少に繋がった企業などもみられていることから、当面の重点経営施策として、「人材を確保する」と回答した企業が前回調査に比べ増加しております。

なお、全国は3.6ポイント改善の▲1.7となっており、神奈川県は7.1ポイント改善の2.3となっております。

来期の予想業況判断につきましては10.2ポイント改善の▲2.0となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	2024年 4~6月	2024年 7~9月	D.I.
前期実績	19.5	52.3	28.2	▲8.7
当期実績	26.5	53.1	20.4	6.1
来期予想	30.6	55.2	14.2	16.4
前年同期比	34.6	43.0	22.4	12.2

料金価格

	前期実績	2024年 4~6月	2024年 7~9月	D.I.
前期実績	23.9	71.8	4.3	19.6
当期実績	26.5	71.5	2.0	24.5
来期予想	22.4	75.6	2.0	20.4

資金繰り

	前期実績	2024年 4~6月	2024年 7~9月	D.I.
前期実績	6.5	71.8	21.7	▲15.2
当期実績	4.0	73.6	22.4	▲18.4
来期予想	4.0	75.6	20.4	▲16.4

設備状況

	前期実績	2024年 4~6月	2024年 7~9月	D.I.
前期実績	2.1	74.0	23.9	▲21.8
当期実績	4.0	77.7	18.3	▲14.3
来期予想	2.0	77.6	20.4	▲18.4

収益

	前期実績	2024年 4~6月	2024年 7~9月	D.I.
前期実績	13.0	54.4	32.6	▲19.6
当期実績	22.4	51.1	26.5	▲4.1
来期予想	22.4	57.2	20.4	2.0
前年同期比	26.5	51.1	22.4	4.1

材料価格

	前期実績	2024年 4~6月	2024年 7~9月	D.I.
前期実績	45.6	52.3	2.1	43.5
当期実績	51.0	47.0	2.0	49.0
来期予想	42.8	55.2	2.0	40.8

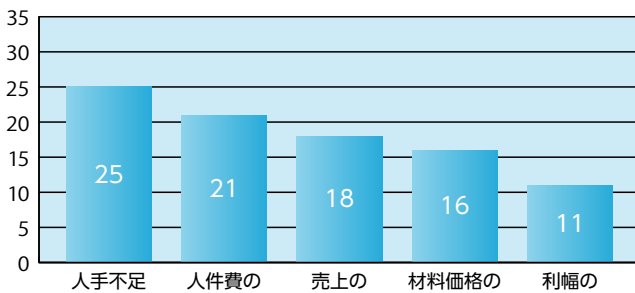
人手

	前期実績	2024年 4~6月	2024年 7~9月	D.I.
前期実績	4.3	47.9	47.8	▲43.5
当期実績	2.0	45.0	53.0	▲51.0
来期予想	2.0	47.0	51.0	▲49.0

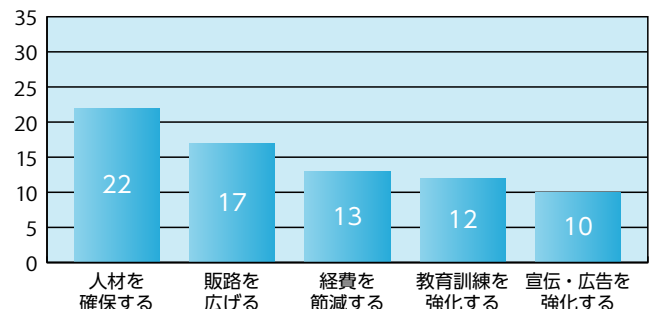
当期実績…2024年 4~6月期
来期予想…2024年 7~9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 3.3 ポイント悪化の 6.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 6.6 ポイント悪化の 7.9、収益 D.I. は 9.6 ポイント悪化の ▲6.4 となっております。

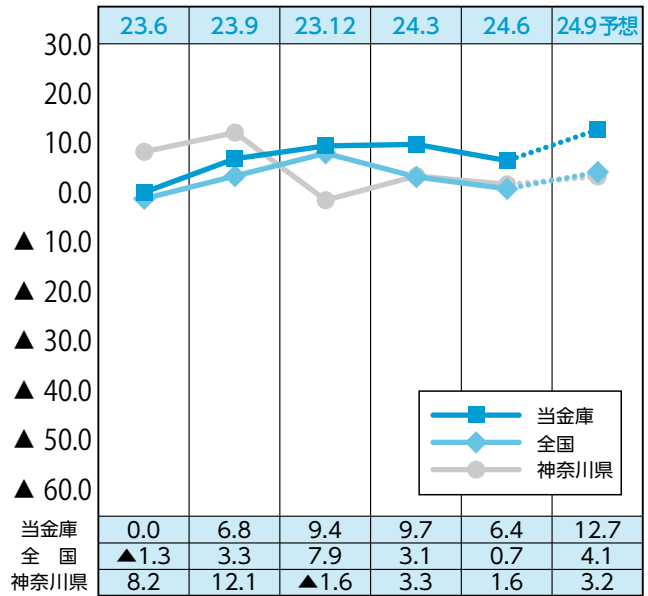
建設業における受注状況は、前回調査に引き続き主要取引先からの施工依頼数が安定的に推移していることに加え、都内や県東部における建設需要の増加がみられていることから、好調を維持しており、業況判断 D.I. につきましては今期悪化となるも、5 期連続のプラス域で推移しております。

しかしながら、人手の状況については、経営上の問題点として、「人手不足」が最も多い回答となっていることから、依然として人手不足感は強く、受注の機会損失及び従業員の長時間労働が常態化しております。また、4 月以降、2024 年問題による労働時間の上限規制の影響により、従来の工期での対応が難しくなるなど、人繰りへの対応に苦慮する企業が増加しております。

なお、全国は 2.4 ポイント小幅悪化の 0.7 となっており、神奈川県は 1.7 ポイント小幅悪化の 1.6 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 6.3 ポイント改善の 12.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	2024年4~6月	2024年7~9月	D.I.
前期実績	37.0	40.5	22.5	14.5
当期実績	39.6	28.7	31.7	7.9
来期予想	34.9	49.3	15.8	19.1
前年同期比	34.9	35.0	30.1	4.8

請負価格

	前期実績	2024年4~6月	2024年7~9月	D.I.
前期実績	25.8	66.2	8.0	17.8
当期実績	26.9	57.3	15.8	11.1
来期予想	20.6	69.9	9.5	11.1

在庫

	前期実績	2024年4~6月	2024年7~9月	D.I.
前期実績	+3.2	93.6	3.2	0.0
当期実績	+6.3	90.6	3.1	3.2
来期予想	+4.7	90.6	4.7	0.0

人手

	前期実績	2024年4~6月	2024年7~9月	D.I.
前期実績	+1.6	43.6	54.8	▲53.2
当期実績	+3.1	43.0	53.9	▲50.8
来期予想	47.7	52.3		▲52.3

収益

	前期実績	2024年4~6月	2024年7~9月	D.I.
前期実績	24.1	55.0	20.9	3.2
当期実績	30.1	33.4	36.5	▲6.4
来期予想	26.9	52.5	20.6	6.3
前年同期比	28.5	33.5	38.0	▲9.5

材料価格

	前期実績	2024年4~6月	2024年7~9月	D.I.
前期実績	70.9	29.1		70.9
当期実績	71.4	28.6		71.4
来期予想	47.6	50.9	1.5	46.1

資金繰り

	前期実績	2024年4~6月	2024年7~9月	D.I.
前期実績	+8.0	67.9	24.1	▲16.1
当期実績	+6.3	74.7	19.0	▲12.7
来期予想	+7.9	74.7	17.4	▲9.5

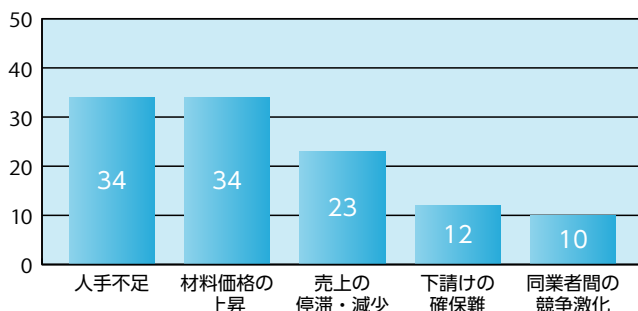
設備状況

	前期実績	2024年4~6月	2024年7~9月	D.I.
前期実績	+1.6	83.9	14.5	▲12.9
当期実績		96.9	3.1	▲3.1
来期予想	+1.5	92.2	6.3	▲4.8

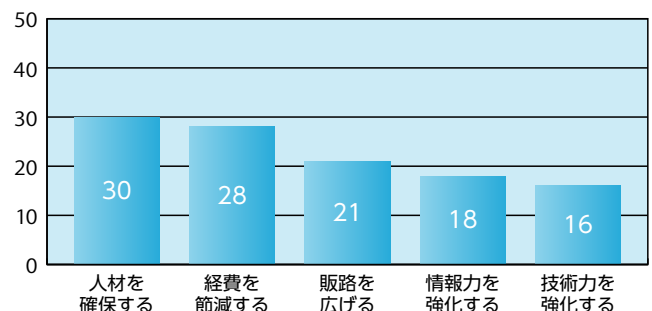
当期実績…2024年 4～ 6月期
来期予想…2024年 7～ 9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

不動産業の業況判断 D.I. は前回調査から 2.7 ポイント小幅悪化の▲8.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 10.8 ポイント改善の 2.7、収益 D.I. は 5.4 ポイント改善の▲2.7 となっております。

当金庫主要営業エリア内における販売状況については、保有在庫の早期売却が進んでおり、依然として不動産需要は底堅く推移しております。

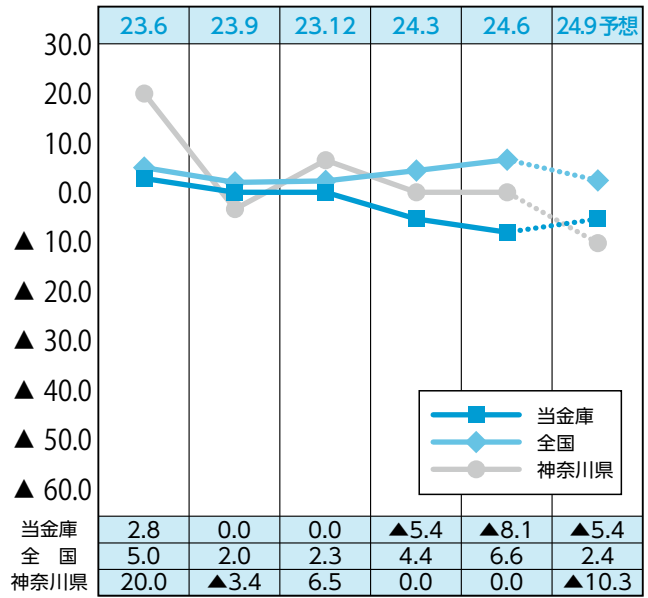
一方、商品仕入については、市場の慢性的な商品不足による競合他社との仕入競争や物価高を背景とする土地造成費高騰に伴い仕入コストが上昇しており、商品仕入に対し慎重姿勢を見せる企業が増加しております。

今後につきましては、物件価格の高騰によるエンドユーザーの買い控えを危惧する声も聞かれており、先行き不透明な状況が予想されております。

なお、全国は 2.2 ポイント小幅改善の 6.6 となっており、神奈川県は横ばいの 0 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 2.7 ポイント小幅改善の▲5.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	24.3	43.3	32.4	D.I.
前期実績	24.3	43.3	32.4	▲8.1	
当期実績	24.3	54.1	21.6	2.7	
来期予想	21.6	51.4	27.0	▲5.4	
前年同期比	24.3	46.0	29.7	▲5.4	

販売価格

	前期実績	13.5	70.3	16.2	D.I.
前期実績	13.5	70.3	16.2	▲2.7	
当期実績	18.9	73.0	8.1	10.8	
来期予想	18.9	78.4	2.7	16.2	

在庫

	前期実績	5.4	54.1	40.5	D.I.
前期実績	5.4	54.1	40.5	▲35.1	
当期実績	2.7	56.8	40.5	▲37.8	
来期予想	5.4	48.7	45.9	▲40.5	

人手

	前期実績	2.7	78.4	18.9	D.I.
前期実績	2.7	78.4	18.9	▲16.2	
当期実績	75.7	24.3	▲24.3		
来期予想	78.4	21.6	▲21.6		

収益

	前期実績	24.3	43.3	32.4	D.I.
前期実績	24.3	43.3	32.4	▲8.1	
当期実績	21.6	54.1	24.3	▲2.7	
来期予想	18.9	54.1	27.0	▲8.1	
前年同期比	18.9	48.7	32.4	▲13.5	

仕入価格

	前期実績	32.4	64.9	2.7	D.I.
前期実績	32.4	64.9	2.7	29.7	
当期実績	27.0	70.3	2.7	24.3	
来期予想	24.3	75.7	24.3		

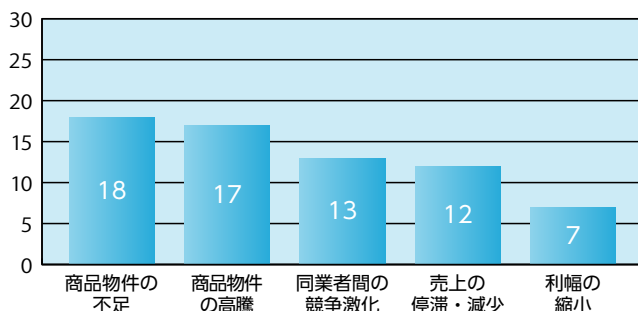
資金繰り

	前期実績	89.2	10.8	D.I.
前期実績	89.2	10.8	▲10.8	
当期実績	5.4	78.4	16.2	▲10.8
来期予想	5.4	83.8	10.8	▲5.4

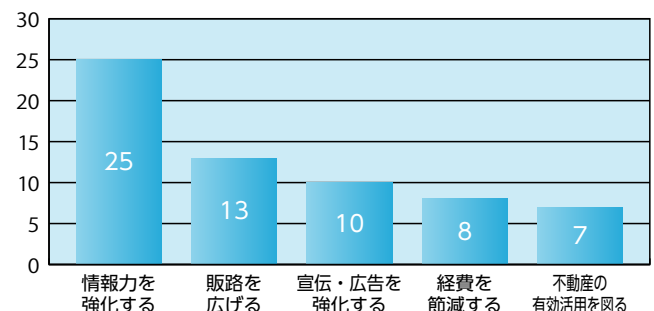
当期実績…2024年 4～6月期
来期予想…2024年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 340 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社では、今期 (4 月～6 月) において、原材料価格及びエネルギー価格等の高騰や円安の進行に伴う物価高騰に対しどの程度販売価格への転嫁をおこなっていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- 価格高騰分の 90% 以上を転嫁できている … 46 社
- 価格高騰分の 70% 以上を転嫁できている … 35 社
- 価格高騰分の 50% 以上を転嫁できている … 24 社
- 価格高騰分の 30% 以上を転嫁できている … 40 社
- 価格高騰分の 10% 以上を転嫁できている … 85 社
- 価格高騰分をほぼ転嫁できていない (10% 未満の増減) … 91 社
- 10% 以上販売価格が減少している … 6 社
- 30% 以上販売価格が減少している … 1 社

問 2. 現在、全国的に慢性的な人手不足が叫ばれる中、貴社における現在の人材確保状況についてどのように感じていますか。あてはまるものを最大 3 つまで選んでお答えください。

- 若手従業員が不足している … 173 社
- 熟練従業員が不足している … 62 社
- 営業職で働く従業員が不足している … 62 社
- 生産・販売現場で働く従業員が不足している … 47 社
- 管理職 (店長・現場監督等) が不足している … 47 社
- 経理や事務職で働く従業員が不足している … 27 社
- 業務上必要な資格取得者が不足している … 23 社
- 事業規模と比較して人員が多すぎる … 7 社
- その他 … 46 社

問 3. 貴社では、今後の事業活動に向けた人材確保として、どのような対応策を検討していますか。あてはまるものを最大 3 つまで選んでお答えください。

- 中途職員採用の強化 … 139 社
- 新入職員採用の強化 … 60 社
- 女性社員の活躍推進 … 50 社
- 非正規社員の活用 … 30 社
- シニア雇用 (定年・再雇用) の促進 … 42 社
- 外国人の活用 … 25 社
- 従業員の整理対応 (早期退職・解雇等を含む) を検討する … 2 社
- 特に対応を検討していない … 116 社
- その他 … 8 社

問 4. 近年、台風や地震などの影響により、企業の事業活動に支障が生じる事例が見受けられ、事業継続計画 (BCP) 策定による障害対応策検討の重要性が高まっておりますが、貴社における事業継続計画 (BCP) の策定状況についてあてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- 既に作成済みである … 22 社
- 現在策定中である … 11 社
- 今後策定予定もしくは策定を検討している … 73 社
- 現在策定はしておらず、今後の策定予定もない … 166 社
- 事業継続計画 (BCP) という言葉を知らない … 50 社
- その他 … 5 社

問 5. 問 4 の事業継続計画 (BCP) 策定状況の質問の回答の内、①、②、③と回答した企業は「BCP 策定による自社への影響」の内あてはまるものを 1 つ、④と回答した企業は「BCP 策定に至っていない理由」の内あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

事業継続計画策定による自社への影響
(問 4 の内、①、②、③と回答した企業はこちら側からお答えください)

- 自社の事業の再確認・見直しに繋がった … 39 社
- 顧客との信頼関係の構築に繋がった … 32 社
- 事業継続に支障が出た際の損害を最小限にできた … 16 社
- 補助金や融資制度に係る優遇制度が活用できた … 9 社
- その他 … 10 社

事業継続計画策定に至っていない理由
(問 4 の内、④と回答した企業はこちら側からお答えください)

- BCP 策定の必要性がないため … 64 社
- BCP 策定の知識やノウハウが自社にないため … 61 社
- BCP 策定による自社に対する経営上の効果が見込めないため … 23 社
- BCP 策定に必要な人的・金銭的余裕が自社に無いため … 18 社
- その他 … 2 社

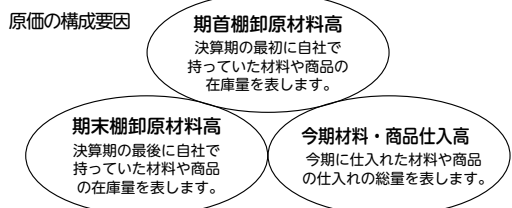
経営のポイント! 『原価とはどのように算出するのか』

前回は企業が事業活動から利益をあげるために重要な「原価管理の必要性」について考えましたが、今回は原価とはどのように算出するのか? について考えていきたいと思います。結論として、原価を求める公式は「期首棚卸原材料高 + 今期材料・商品仕入高 - 期末棚卸原材料高」にて求めることができます。業種の違いにより何が仕入高に該当するか厳密には異なりますが、大枠の考え方としては同じになります。原価を構成する要素は左側の図の通りとなります。

原価の公式

$$[\text{期首棚卸原材料高} + \text{今期材料} \cdot \text{商品仕入高} - \text{期末棚卸原材料高}] = \text{原価}$$

$$3,000 + 5,000 - 4,000 = 4,000$$



イメージ図 損益計算書 貸借対照表

科目		金額	貸借対照表			
			資産の部		負債の部	
			勘定科目	期末残高	勘定科目	期末残高
売上高		10,000	流動資産		流動負債	
売上合計		10,000	・・・	××	・・・	××
売上原価			材料・商品	4,000	固定負債	
期首棚卸原材料高	3,000		固定資産		・・・	××
今期材料・商品仕入高	5,000		・・・	××	・・・	××
期末棚卸原材料高	4,000	4,000	投資その他		純資産の部	
売上総利益		6,000	・・・	××	資本金	××
(途中省略)			合計	××	合計	××
当期純利益		×××				

3つの構成要素が決算書のどこに記載があるかについては、右図の通りとなります。上記の内容を参考に、一度自社の決算書を見直して、自社の原価はどのくらいかかっているのかを確認してみるのはいかがでしょうか。ご不明な点等ありましたら、お近くの中栄信用金庫までお気軽にご相談下さい。